

令和5年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

地域に新規就農者を呼び込み、ともに地域資源循環型農業に取り組む

○氏名又は名称 JA やさと有機栽培部会（代表 田中 宏昌）

○所在地 茨城県石岡市

○出品財 経営（有機野菜）

○受賞理由

・地域の概要

石岡市は、茨城県のほぼ中心部に位置し、筑波山、足尾山、加波山等の山々に三方を囲まれており、水源は霞ヶ浦に注いでいる一級河川の恋瀬川とその支流である。筑波山系から南部にかけてのなだらかな丘陵地で、土壌は関東ローム層からなる肥沃な黒ボク土壌となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

1990年台に有機農業への関心が高まったことを機に、主要な取引先であった生協に有機野菜を提供するため、部会が設立された。JA やさとや石岡市の研修機関と連携して新規就農者を育成し、研修後に新たな部会員として迎え入れることで、生産規模を拡大してきた。また、マーケット・インに基づく厳密な栽培計画、出荷・販売計画のもと、高位平準化された有機野菜を出荷・販売することで着実に事業規模を拡大しており、主要品目の作付面積、生産量、販売金額のいずれも年々増加している。

・受賞者の特色

（1）研修機関との連携による事業規模の拡大

JA や市が設置する新規就農者の研修機関と連携して研修生に技術指導を行うほか、移住者が孤立することのないよう生活面も積極的に支援している。研修終了後はほぼ全員が部会に加入しており、事業規模の拡大を図るだけでなく、新規就農者の定着や地域コミュニティの形成にも貢献している。

（2）地域資源を活用した有機栽培

生産者の意識向上のため部会員全員が個人で有機 JAS 認証を取得することで、有機野菜の出荷先を確保している。また、地域内で家畜糞や落ち葉、稲わら等を調達するほか、放置された竹林の竹を粉碎・発酵させ堆肥化を試みるなど、環境に配慮した持続可能な地域資源循環型農業に取り組んでいる。

・普及性と今後の発展方向

引き続き、環境に配慮した持続可能な地域資源循環型農業に取り組むとともに、農業の担い手育成にも取り組む。また、作業の機械化による省力化や IT 技術を活用した効率的な栽培体系を確立し、生産・安定供給を図ることで、信頼される有機野菜産地としての地位を確立していく。